

今 の 自 分

つくりたいものに
一心に取り組んで
納得できる今がある。



Vol.08

南丹市
養鶏・養豚場経営
篠山 直也さん
Sasayama Naoya

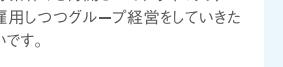
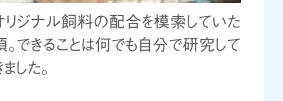
1983年大阪府茨木市生まれ。岡山にある農業高校に進学。3年間の寮生活を送り岡山の農業大学校に進学。2003年南丹市美山町に移住し、2年半の養鶏研修の後独立。現在は年間8000羽の肉鶏(匠京地どり・京美白どり)と、年間10頭程の豚(美山豚)の生産、販売をしている。現在は妻と4人の子どもも暮らす。

農業一筋の道をめざして
美山町に1ターン

豊かな自然とがやぶき民家の原風景が残る南丹市美山町。「昔から林業が盛んだからか、外の人を受け入れる環境がありますね」そう話すのは、美山町で京地どりや美山豚を生産する篠山直也さん。篠山さんは20歳のときに美山町へ十ターンし農業を営んでいる。篠山さんが農業の道を志したのは中学時代。「祖母が『田舎に帰りたい』というのを、じゃあ自分も一緒に暮らそう、それなら農業だ!と笑)」。大阪出身の篠山さんは、寮のある岡山県の高校で酪農を学び始める。「牛の乳搾りや出産、牛の鑑定競技・何もかも楽しかったですね」。卒業後は進学か就農かで迷った篠山さんは「ネットで農業をしている人を探し、メールで相談しました。から農業するなら大学で人脈をつくりなさいと、勧めてくれた」と話す。農業大学校に進んだ篠山さんは、1年の頃から、翌年は京都の農業会議へ。美山町で養鶏業を営む方を紹介され、篠山さんもから養鶏を始めることを決意。「高校で牛、大学では野菜や果樹も習い、同級生だった奥さんは花卉栽培ができた。何でも来いと思ったら、やつたことない鶏だった(笑)」と振り返る。



月	火	水	木	金	土	日
PCチェック ヒヨコの管理						
6						
7						
8	子どもの支度	保育園に送る			朝食	
9	鶏豚の管理	食鳥処理	鶏豚の管理	食鳥処理	鶏豚の管理	食鳥処理
10	一般作業		材料集め		材料集め	一般作業
11						
12						
13	昼食					
14	ヒヨコの管理					
15	一般作業	出荷準備	一般作業	出荷準備	一般作業	出荷準備
16						
17						
18	子どものお迎え					
19						
20	夕食 入浴				夕食・入浴	
21						
22	餌作り・餌やり・見回り				映画鑑賞 ネットゲーム	
23						
0	睡眠					



篠山さんの LIFE HISTORY & ONE WEEK

生き方ヒストリー アンド ある1週間



篠山さんの

0歳 4人兄妹の次男として大阪府茨木市に生まれる

16歳 高校は寮生活

19歳 岡山農業大学校で妻と出会う

20歳 美山に移住

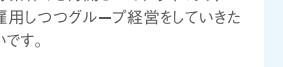
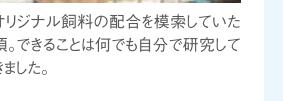
22歳 研修を終え独立、結婚

24歳 「京地どり」生産「美山豚」開発成功

30歳 「京京地どり」誕生

32歳 「京美白どり」誕生

52歳 子どもに任せて新しい事を…



「お客様が来るといふとよく振る舞つてますよ。みんなに自分が作ったものを食べてほしいのです」という篠山さんが目の前の鶏をあざやかに捌いていく。「うちの鶏を食べられるなくなつた」という篠山さんは、「他の鶏が食べられなくなつた」と篠山さんに近い状態で育てたくて、麦や米を中心自家配合の飼料を与えている」と話す。当初、思うような鶏ができる悩んでいたところ、「放牧豚を育てないかとの依頼が舞い込む。「まあ、やつてみるかと始めた(笑)」といふ篠山さん。ところが、豚の飼料を研究するうちに、鶏をおいしくできるヒントを発見。「うちの鶏は豚のような台風で水没したりと、予期せぬ出来事もできてきた」と話す。事業を始めた当初は鳥インフルエンザを経験したり、鶏舎が倒壊するなど何かなる良い意味で開き直る。それは良くなつてくる(笑)」

「お客様が来るといふとよく振る舞つてますよ。みんなに自分が作ったものを食べてほしいのです」という篠山さんが目の前の鶏をあざやかに捌いていく。「うちの鶏が食べられなくなつた」という篠山さんは、「他の鶏が食べられなくなつた」と篠山さんに近い状態で育てたくて、麦や米を中心自家配合の飼料を与えている」と話す。当初、思うような鶏ができる悩んでいたところ、「放牧豚を育てないかとの依頼が舞い込む。「まあ、やつてみるかと始めた(笑)」といふ篠山さん。ところが、豚の飼料を研究するうちに、鶏をおいしくできるヒントを発見。「うちの鶏は豚のような台風で水没したりと、予期せぬ出来事もできてきた」と話す。事業を始めた当初は鳥インフルエンザを経験したり、鶏舎が倒壊するなど何かなる良い意味で開き直る。それは良くなつてくる(笑)」

「お客様が来るといふとよく振る舞つてますよ。みんなに自分が作ったものを食べてほしいのです」という篠山さんが目の前の鶏をあざやかに捌いていく。「うちの鶏が食べられなくなつた」という篠山さんは、「他の鶏が食べられなくなつた」と篠山さんに近い状態で育てたくて、麦や米を中心自家配合の飼料を与えている」と話す。当初、思うような鶏ができる悩んでいたところ、「放牧豚を育てないかとの依頼が舞い込む。「まあ、やつてみるかと始めた(笑)」といふ篠山さん。ところが、豚の飼料を研究するうちに、鶏をおいしくできるヒントを発見。「うちの鶏は豚のような台風で水没したりと、予期せぬ出来事もできてきた」と話す。事業を始めた当初は鳥インフルエンザを経験したり、鶏舎が倒壊するなど何かなる良い意味で開き直る。それは良くなつてくる(笑)」

「お客様が来るといふとよく振る舞つてますよ。みんなに自分が作ったものを食べてほしいのです」という篠山さんは、「他の鶏が食べられなくなつた」と篠山さんに近い状態で育てたくて、麦や米を中心自家配合の飼料を与えている」と話す。当初、思うような鶏ができる悩んでいたところ、「放牧豚を育てないかとの依頼が舞い込む。「まあ、やつてみるかと始めた(笑)」といふ篠山さん。ところが、豚の飼料を研究するうちに、鶏をおいしくできるヒントを発見。「うちの鶏は豚のような台風で水没したりと、予期せぬ出来事もできてきた」と話す。事業を始めた当初は鳥インフルエンザを経験したり、鶏舎が倒壊するなど何かなる良い意味で開き直る。それは良くなつてくる(笑)」

「お客様が来るといふとよく振る舞つてますよ。みんなに自分が作ったものを食べてほしいのです」という篠山さんは、「他の鶏が食べられなくなつた」と篠山さんに近い状態で育てたくて、麦や米を中心自家配合の飼料を与えている」と話す。当初、思うような鶏ができる悩んでいたところ、「放牧豚を育てないかとの依頼が舞い込む。「まあ、やつてみるかと始めた(笑)」といふ篠山さん。ところが、豚の飼料を研究するうちに、鶏をおいしくできるヒントを発見。「うちの鶏は豚のような台風で水没したりと、予期せぬ出来事も